



管理ツール 操作マニュアル

S01-06 ETL 機能

株式会社 NTTデータ NJK

- ・このソフトウェアの著作権は、株式会社 NTT データ NJK にあります。
- ・このソフトウェアおよびマニュアルの一部または全部を無断で使用、複製することは法律で禁止されています。
- ・このソフトウェアおよびマニュアルは、本製品の使用許諾契約書のもとでのみ使用することができます。
- ・このソフトウェアおよびマニュアルを運用した結果の影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・このソフトウェアの仕様およびマニュアルに記載されている事項は、将来予告なしに変更することがあります。
- ・このマニュアルで使用している画像には、開発中のものも含まれます。実際の製品と異なる場合がございますことをご了承ください。

DataNature および DataNature Smart は、株式会社 NTT データ NJK の登録商標です。
その他の商品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

CONTENTS

マニュアルの表記.....	S01-06_0
1.DataNature Smart 全体概要図.....	S01-06_1
2.基本操作.....	S01-06_2
2-1 ジョブの作成.....	S01-06_2

マニュアルの表記

◆ 呼称について

本マニュアルでは以下の呼称を使用しています。

DataNature Smart 管理ツール :DN 管理ツール

DataNature Smart クライアント :DN クライアント

◆ 画面に表示されるコマンド名などの文字

コマンド名やダイアログボックス名など、画面上の固有の文字は [] で囲んで表記します。なお、ユーザーによって異なるデータボタンは < > で囲んで表記します。

【例】

[編集]コマンド、[検索]ダイアログボックス

<大阪営業所>データボタン

◆ マニュアルで使用しているアイコン



“注意”を意味します。

知っておくべき重要な事柄や行なってはならない操作など、注意すべきことについて記載されています。



“ポイント”を意味します。

操作や内容のポイントとなる事柄について記載されています。



“参考”を意味します。

知っておくと便利な操作や内容などのノウハウについて記載されています。



“参照”を意味します。

操作や内容に関連するマニュアルの参照ページについて記載されています。

◆ マニュアルで使用している画像について

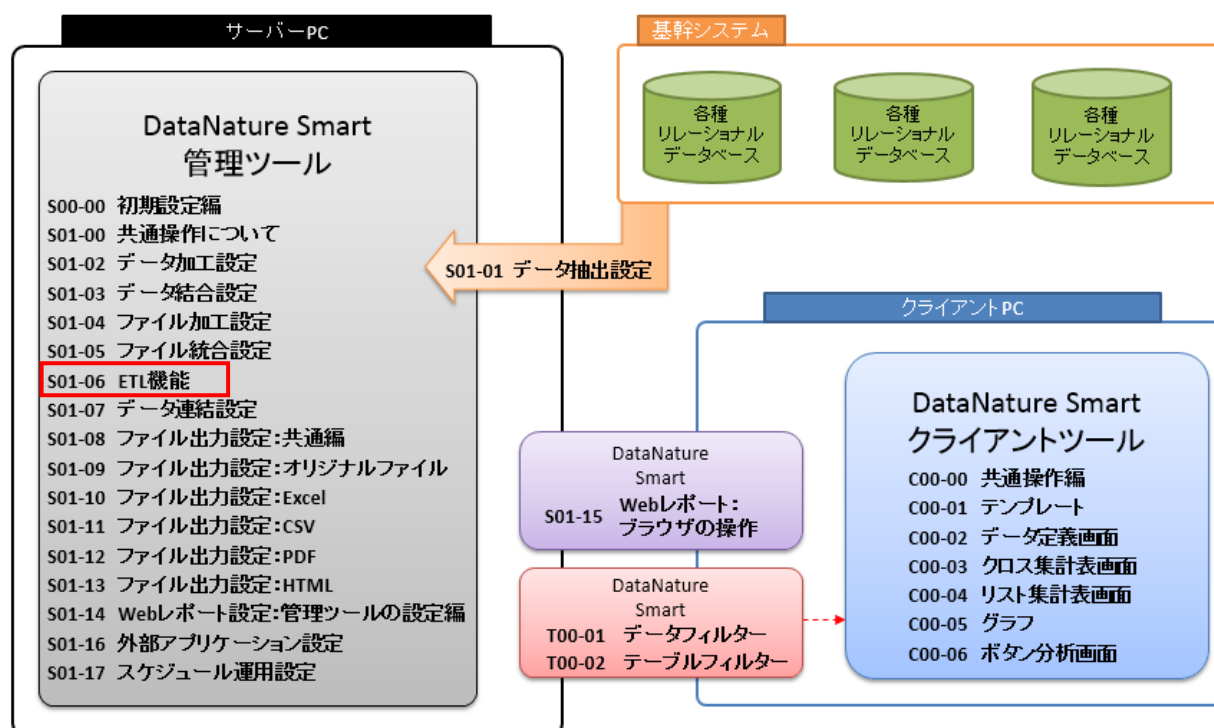
マニュアルで使用している画像には、開発中のものも含まれます。実際の製品と異なる場合がございますことをご了承ください。

◆ 機能について

導入された製品構成によって、利用できない機能や制限があります。

1. DataNature Smart 全体概要

本マニュアルでは、S01-06 ETL 機能について記載しています。



メインフレームやオープンシステムに存在する、様々なデータベース、データソースから、ノンプログラミングで簡単にデータ加工処理(文字コード変換、データタイプ変換、データフォーマット変換、データクレンジング等)を実現します。

- メインフレームからのデータ抽出・コード変換もOK (IBM、NEC、富士通、日立等)
- 読み込んだデータにジョイン、マージ、集計、分割、参照、縦展開など様々な加工をすることが可能。
- 豊富なクレンジング処理、データ追加/更新/削除処理機能であらゆるデータを統合し、整形可能。
- ドキュメント生成機能により処理手順、処理内容が自動的に文書化されます。
- SAP や Salesforce のデータとの連携が可能※別途、オプションのアダプタが必要となります。



2. 基本操作

2-1 ジョブの作成

[ETL 機能]では、“ETL(Extract Transform Load)ツール”を利用して、様々な形式の複数のデータソースを対象に、高度な変換・統合・加工処理をノンプログラミングで行い、分析用データを出力することができます。



[ETL 機能]はオプション機能です。導入されていない場合はご利用いただけません。



DataNature Smart の[ETL 機能]は、株式会社ユニリタが開発販売している「Waha! Transformer V3.1」の OEM 提供製品です。[ETL 機能のプロパティ]内にある[Designer]ボタンから起動する各画面やヘルプには、「Waha! Transformer」の表記が入ります。

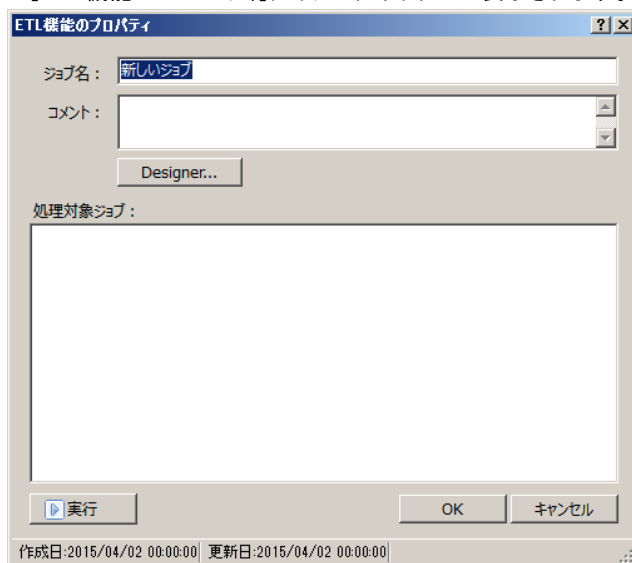
1



DN 管理ツールの[DataNature の管理]-[ジョブ設定]ノードをクリックし、メニューバー[ジョブの設定]-[ファイル操作系作成]-[ETL 機能]をクリックします。

([DataNature の管理]-[ジョブ設定]-[ETL 機能]ノード上のコンテキストメニュー[新しいジョブ])

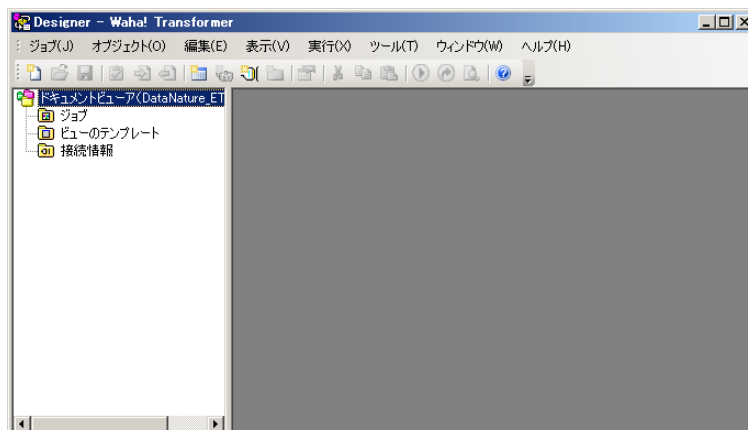
▼[ETL 機能のプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。



2

[Designer]ボタンをクリックします。

▼[Designer - Waha! Transformer]ダイアログボックスが表示されます。





この画面以降の操作は、株式会社ユニリタの「Waha! Transformer V3.1」のヘルプを参照しながら実行してください。ヘルプは、メニューバーの[ヘルプ]-[ヘルプ]から[Waha! Transformer オンラインヘルプ]をクリックします。

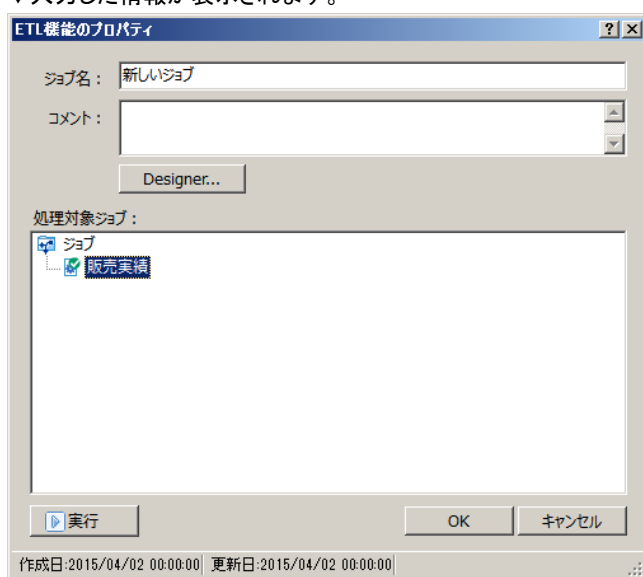
- ③ [Designer - Waha! Transformer]ダイアログボックスでの設定が完了すれば、メニューバー[ジョブ]-[終了]をクリックして、[ETL 機能のプロパティ]ダイアログボックスに戻ります。

▼[処理対象ジョブ]欄に登録したジョブが表示されます。



- ④ [ジョブ名:]テキストボックスに、ジョブ名を入力します。
 ⑤ [コメント:]テキストボックスに、ETL 設定についての説明などを任意に入力します。
 ⑥ [処理対象ジョブ]から、手順③で設定したジョブを指定します。

▼入力した情報が表示されます。



[実行]ボタンをクリックすると、[読み込み件数の設定]ダイアログボックスが表示され、件数を限定してテスト実行することができます。

- ⑦ 設定が完了しましたので、[OK]ボタンをクリックし、ジョブを登録します。

▼[ETL 機能のプロパティ]ダイアログボックスが閉じ、管理ツールの画面に戻ります。設定した内容がプロパティ表示領域に表示されます。

